

和歌山からの優しさ

オウ ジョエン
教育学部 交換留学生 中国

今日は和歌山にきて 283 日目です。こんなに長い時間が経っても、去年の 9 月 24 日は昨日のように感じられます。その日は飛行機に乗ることが初めてで、日本に来ることも初めてでした。実は、私は外向的に見えますが、見知らぬところに行くことを恐れます。そして、日本に到着するまで自分の一年間の生活が非常に気掛かりでした。しかし、和歌山から優しさを実感して、心配や不安が取り除かれました。

留学生を日本の生活に慣れさせて、留学生の間の距離を縮めるために、WIN コンコードはさまざまな活動を準備してくれました。例えば、初めての歓迎会や 12 月の八朔狩り鍋パーティなどです。WIN コンコードのみなさんのおかげで、和歌山の温かさを感じました。歓迎会で、各国や各校の留学生と知り合っただけでなく、友達になりました。さらに、八朔狩り鍋パーティで、果樹園と農園に行き、みかんと大根を収穫したことも楽しかったです。その他には、美味しい



鍋料理を食べたり、クリスマスのためのケーキを作ったりしました。活動以外にも、車で旅行に連れて行ってきて、生活面でもたくさん助けてくれました。これらは留学生活に彩りを与えてくれました。

留学生活の中で、アルバイトが多くの時間を占めました。

コンビニの同僚からお客様まで、温かさを身にしみて感じていました。私はミスばかりしていましたが、店長はいつも「大丈夫よ」と言ってくれました。初めて一人でお客様に



向かった時は、心臓がドキドキして緊張していましたが、同僚からもらったホットココアを飲んで、緊張が和らぎました。そして、冬は暗くなるのが早いので、安全のために同僚は早く退勤させてくれました。12 月 24 日には店のクリスマスギフトをもらいました。この袋の中にケーキとチキンがあるとは思いませんでした。新年にももらったお年玉も忘れられません。外国人として、ギフトをもらった時、心に深い温かさを感じました。店長と同僚だ

けでなく、お客様も優しくかったです。お客様は私の名札を見ると、いつも中国語で「加油」と言って、私を元気づけてくれました。

回転寿司屋でアルバイトをしたこともあります。寿司屋で寿司の作り方を習えることが面白かったです。恥ずかしくて日本語が上手ではないから、日本人の同僚とあまり交流しませんでした。唯一の知り合いは寿司の作り方を教えてくれた先輩でした。その日、あまりよく知らない同僚が先輩に「この人は誰？」と聞きました。先輩は「仲良しです」と言いました。「仲良しです」という言葉に、私はとても感動しました。コロナウイルスが原因で、仕事をやめなければならなかったのが、本当に悔しいです。アルバイト先の知り合いの人は私に家族の健康や故郷の状況を聞いてくれました。これらは私の心を温めてくれて、異国でも寂しさを感じませんでした。

先生も優しくしてくれました。授業の内容についてわからないことがあったら、手を取って教えてくれました。私たちの学習だけではなくて、生活にも関心を持ってしてくれます。

昔は常に日本人が冷たいと聞いていました。けれどもこの留学生生活をきっかけに、日本人はただ他人に迷惑をかけたくないだけで、他の人を喜んで助けるということがわかりました。このような温かさこそ、一年間私を支えてくれたものでした。そのため、時間が長いと思わないばかりか、「白駒の隙を過ぎるが如し」、時間が短いと感じました。感謝したい人が多すぎて、この文章が足りないと思います。和歌山で会った人に感謝して、和歌山からの優しさに心から感動しています。

The Warmth of Wakayama

Wang Shuyuan

Faculty of Education, Exchange Student / China

Today is my 283th day in Wakayama. Even after such a long period of time, September 24 last year still seems to be yesterday. Before coming to Wakayama, I was full of worries and anxiety, but only after I arrived did I realize that the previous anxiety was unnecessary. The people and things I met in Wakayama made me deeply feel the warmth, made me ignore the loneliness in the foreign country, and supported me to spend the year. I have heard that the Japanese are indifferent. When I arrived, I realized that they just did not want to trouble others, but never stung on their tenderness. Time is like a white horse, I will cherish it for the remaining 2 months. Thank you to everyone I met in Wakayama, and thank you for the warmth I felt in Wakayama.

来自和歌山的温暖

王舒媛

教育学部 交换留学生 / 中国

今天是我来和歌山的第 283 天。即使经过这么长的时间，去年 9 月 24 日仍犹在昨日。来和歌山前我充满了担忧和不安，但到了之后我才明白先前的不安大可不必。在和歌山遇到的人和事都让我深切感受到了温暖，让我忽视了异国的孤独，支撑着我度过了这一年。曾听闻日本人皆冷漠，来了以后才知道他们只是不愿意麻烦别人，但从不吝啬自己的温柔。时间如白驹过隙，剩下的 2 个月我会倍加珍惜。感谢在和歌山遇到的每一个人，感谢在和歌山收到的感动。